

逆行した 悪の 令嬢は

愛機を
解放したい



Strange Coquetry

私は
テロル人序列10位メディナ!

強きこそ
最も価値があり

弱きを駆逐する
テロル人の中でも
最も由緒正しき
名家に生まれた
純血のテロル人だ!

雑種が蔓延る
上位連中を下し、

皇帝の地位を
篡奪する為
強い武器を
求めていたところ、

つい最近
勝手に滅んだ星の
兵器に目をつけた!



この兵器は搭乗者と
神経接続することにより

感情を共有し
相乗することにより
強いエネルギーを
出力することができる。

同じ兵器である仲間の命が
無為に散ってゆくことに
耐えられず、

母星を破壊するほど

仲間が大事な
個体ならば、

仲間の命の安寧でも
保障してやれば
操れるかもしれないと
選んだこの兵器

「ルシフェル」は
正解だった！

こいつが持つ、
故郷を侵略した
我々に対してや

自分一人では抵抗も
ままならないような弱者

に対しての憎悪に
由来したすさまじい
破壊衝動は



素晴らしい
エネルギーを
出力してくれる。

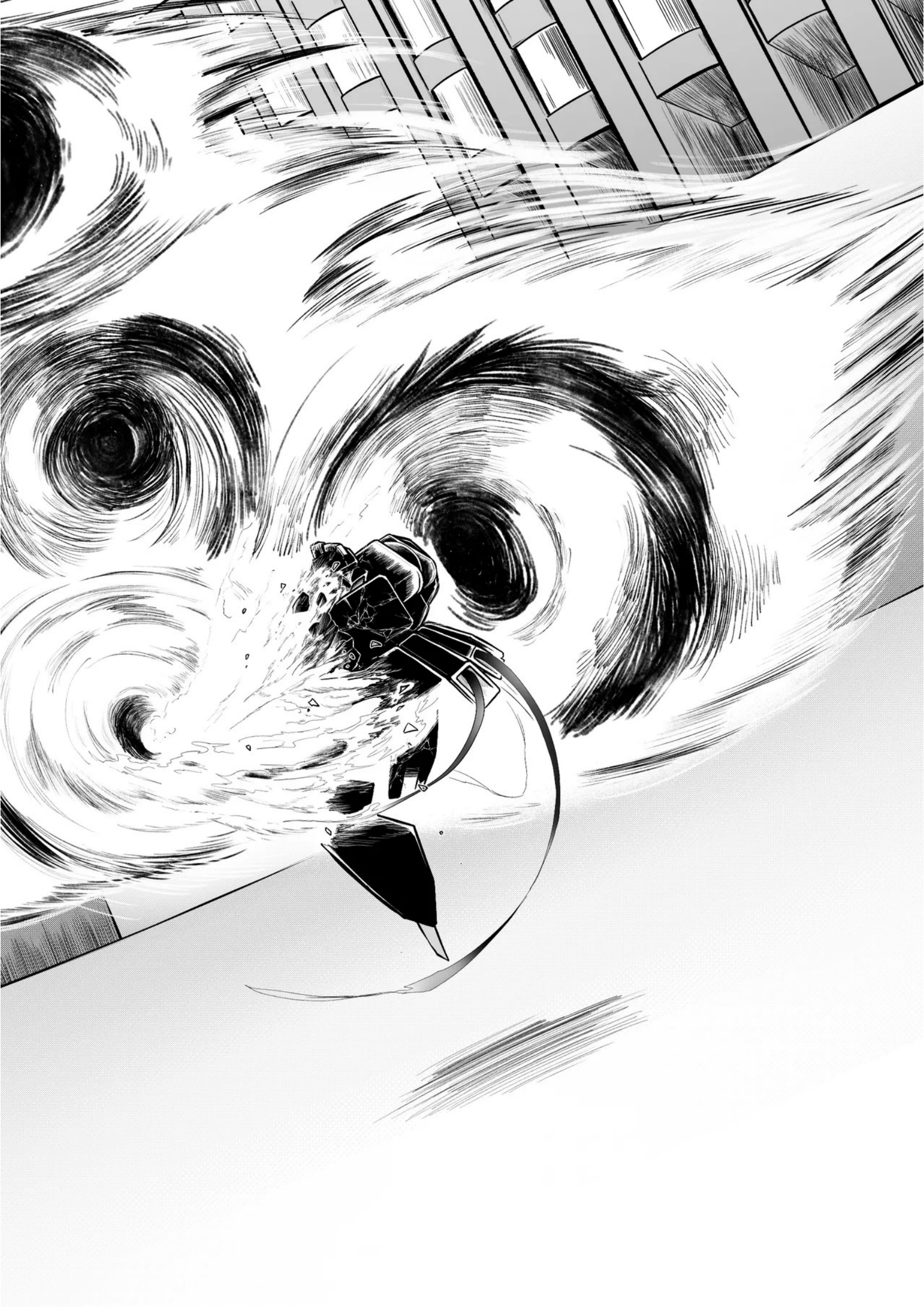


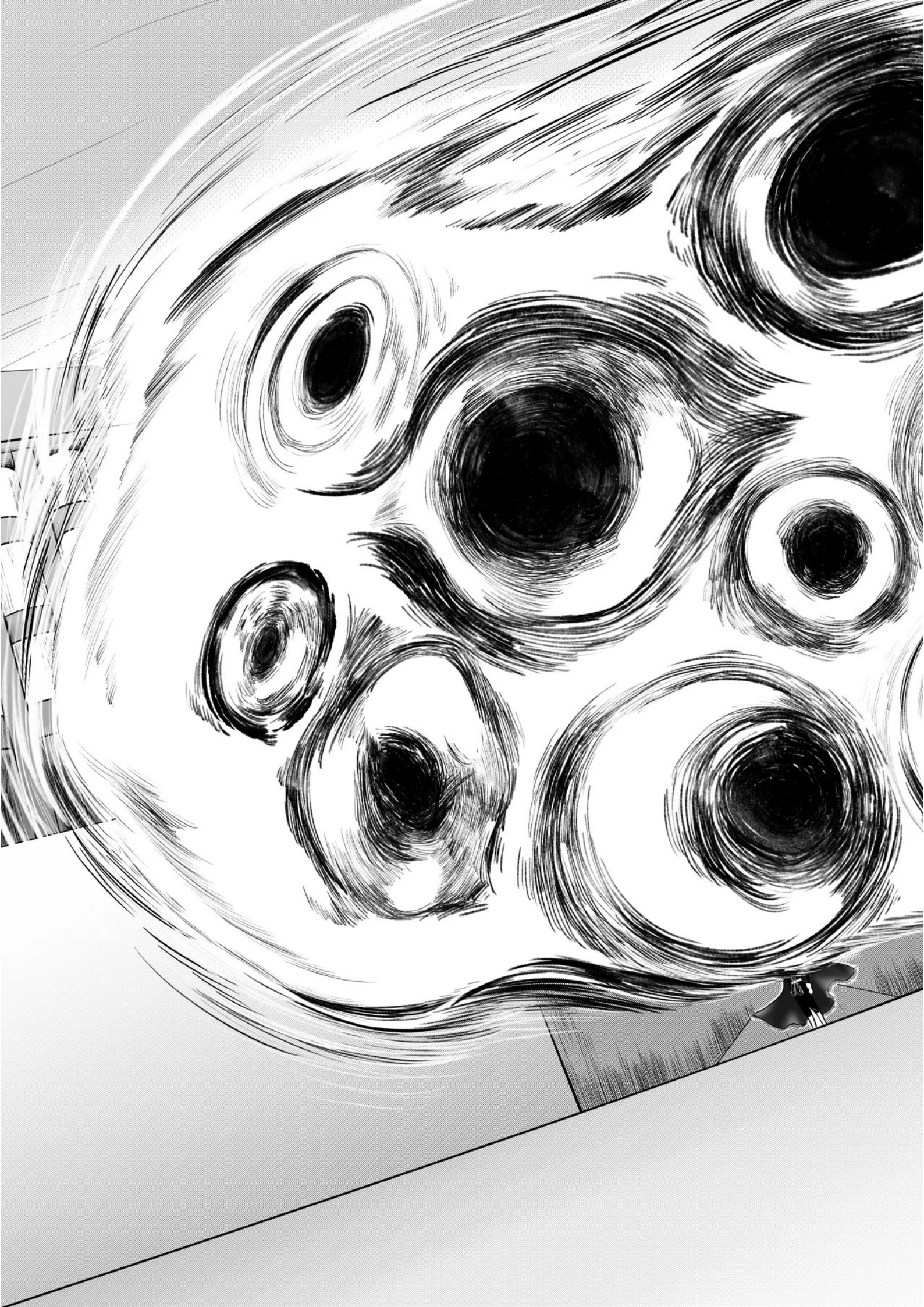
闘志を共有して
圧倒的力を
奮うことは、
なんて楽しいもの
なのだろう！

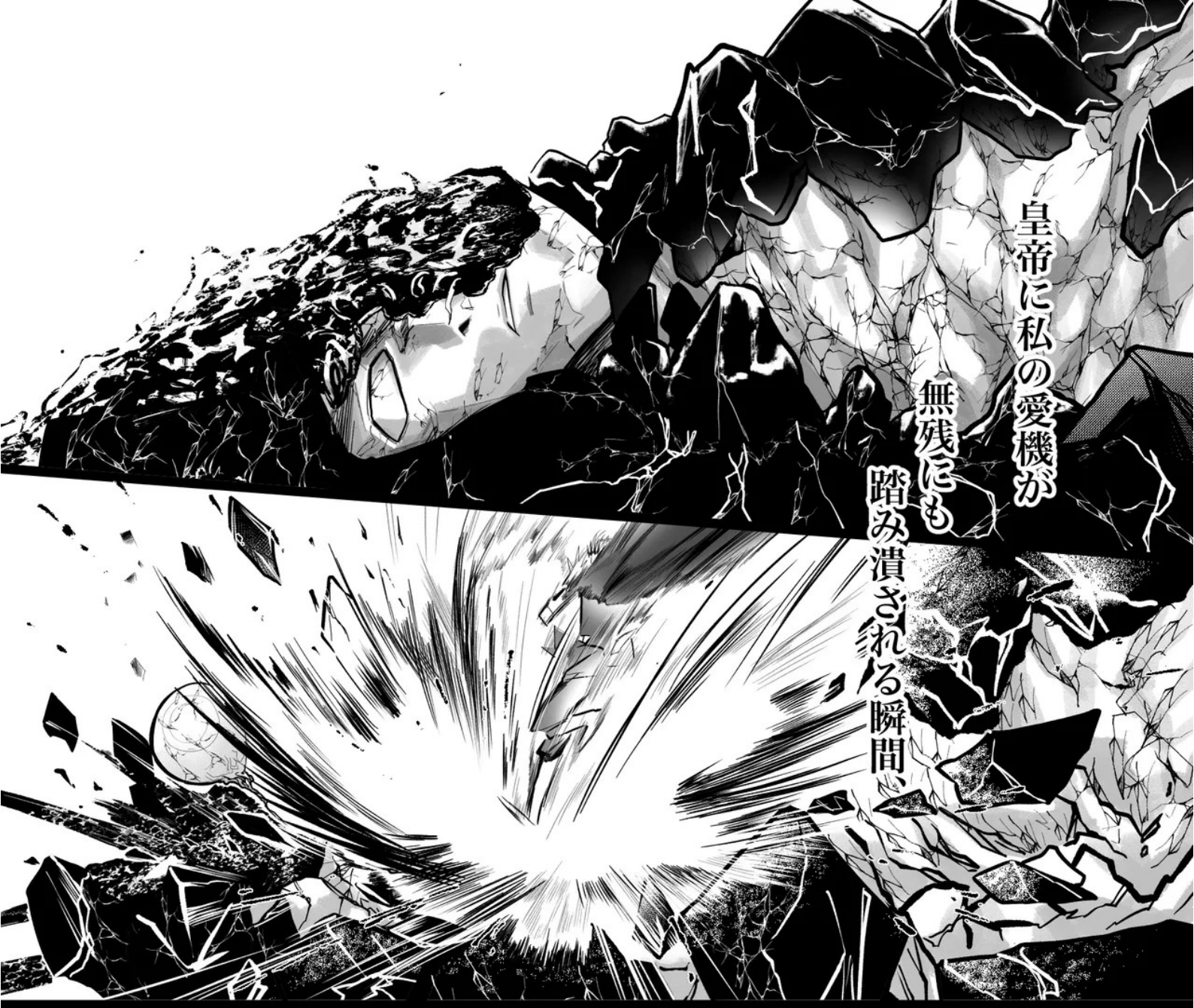


序列上位の
同族を下し

皇帝の首にすら
手が届く……！







皇帝に私の愛機が

無残にも

踏み潰される瞬間、



私が利用しなければ

こいつはこんな風にならなかつたんじゃないかと

なっちゃったからには
しょうがない！

ここから
ルシフェルが死なない
世界を作る為には

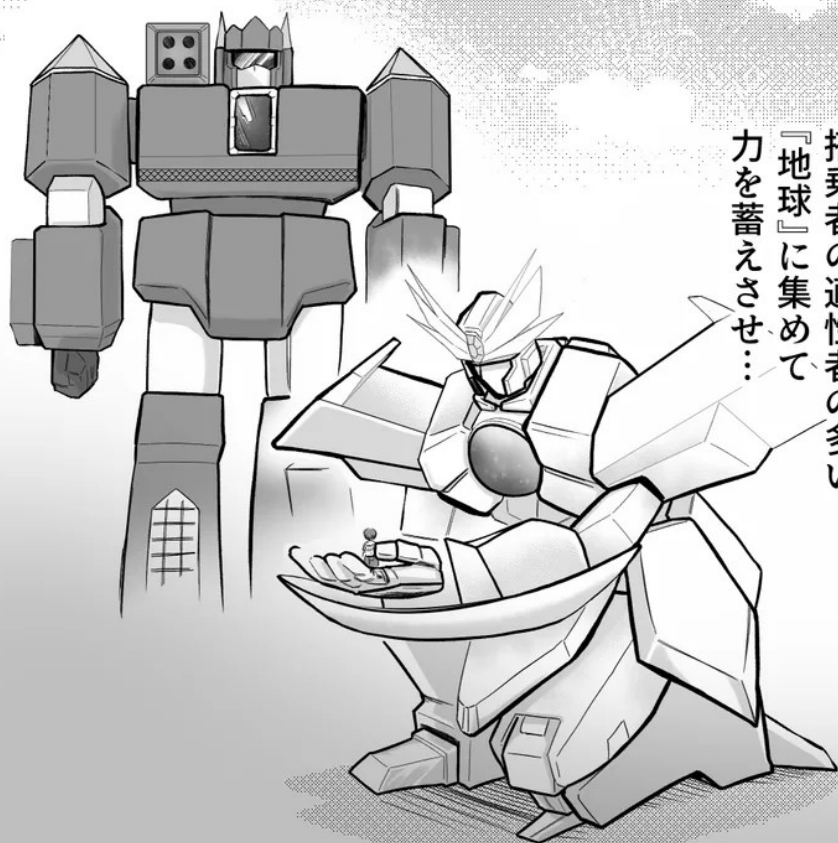
『テロル人が邪魔』
だ!!

テロル人を
殲滅する為、

絶対条件として
皇帝を確実に殺す為、

私は
ルシフェルを含めて、
母星を失って散り散り
になった彼の仲間の兵器を

搭乗者の適性者の多い
『地球』に集めて
力を蓄えさせ：



力を合わせて
皇帝を謀殺したのだった。



さあ後は私ごと
テロル人を
殲滅すればいいだけ！

先触れなく
暗黒銀河内にワープし、

出入口を全てロックし
艦内の全エネルギー砲を
一気に誘爆させれば
さすがに全滅するだろう。

今すぐ
基地の全武器も遠くまで
地球への再攻撃です。
きいてもらいますか？

あとは…

ルシフェルをいい加減、
解放しなければ

断る

お前たちと
手を組まなければ
叶えられない
目的は果たした！

地球へ行って
お前の仲間たちと、
安寧の日々を
享受すればいいと
言っているんだ！

俺は
そんな恥知らずにな
るつもりはない

恥知らず!?

あいつらに対して
償いようがない
罪を犯した自覚はある

故郷を滅ぼした
逆賊といえど、

あいつらと
穏やかな未来を
紡ごうと思えるような
賤しい性根は
持ち合わせていないつもりだ

そんなことで
埋まる溝
ではない

我々を凌駕する力を
持ったことで
『しょくざい』
とかいうものは
果たしたんじゃないのか

お前には
わからんだろうがな

想定していた
④

計算外だ……っ

専用武器から解放する
話をすれば喜び勇んで
仲間の元へ行くと思って

それに

俺はもう
お前を守る為に
未来を捧げると
決めている

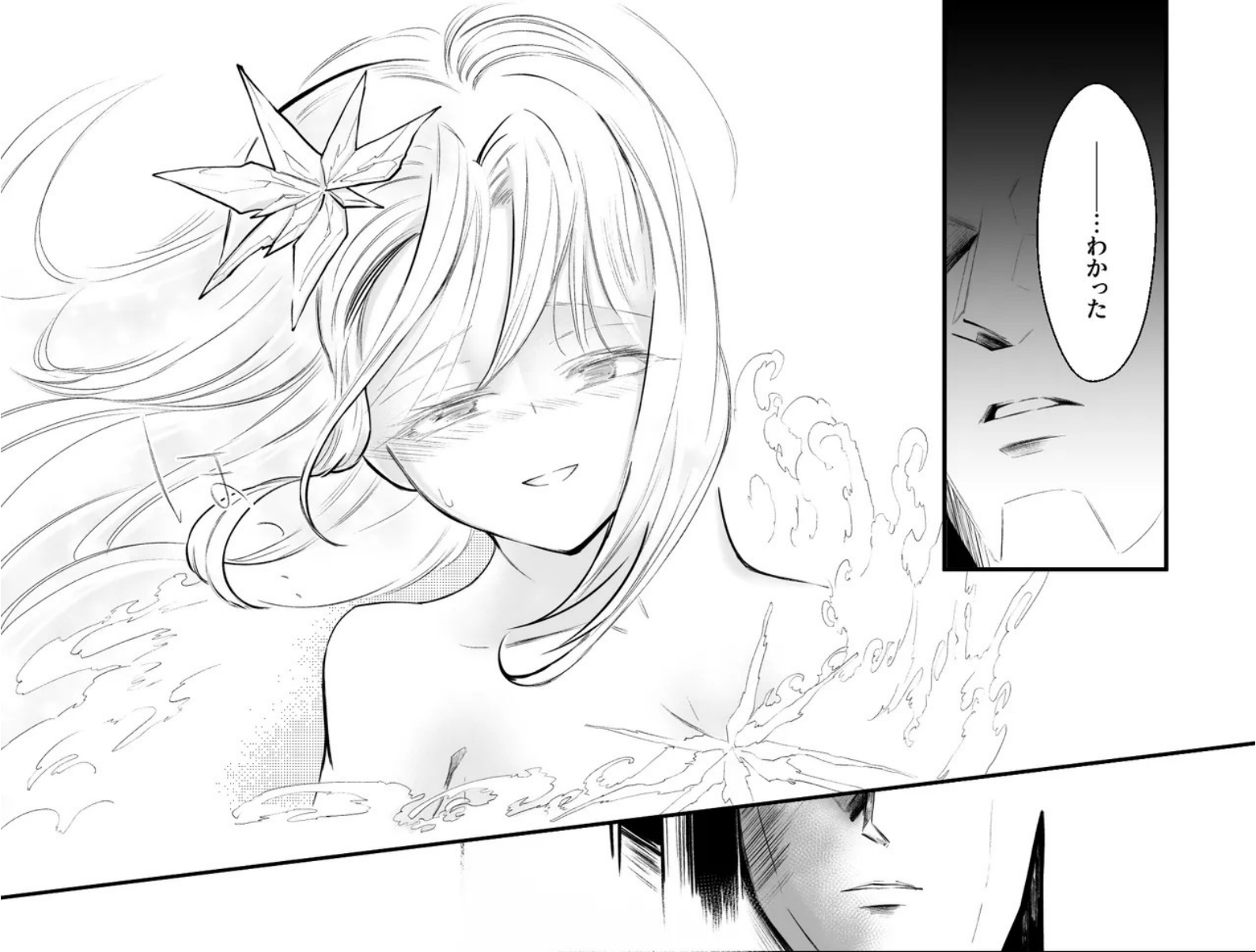
大体お前の力は
俺あつての
ものだろう

他のテロル人が
生身のお前に
いつまでも従って
いるとでも？

はっ、

今残っている
凡弱ごとき、
100人束になって
かかって来たところで
私1人で返り討ちに
してくれるわ

お前の手を
借りるまでもない



…いいだろう

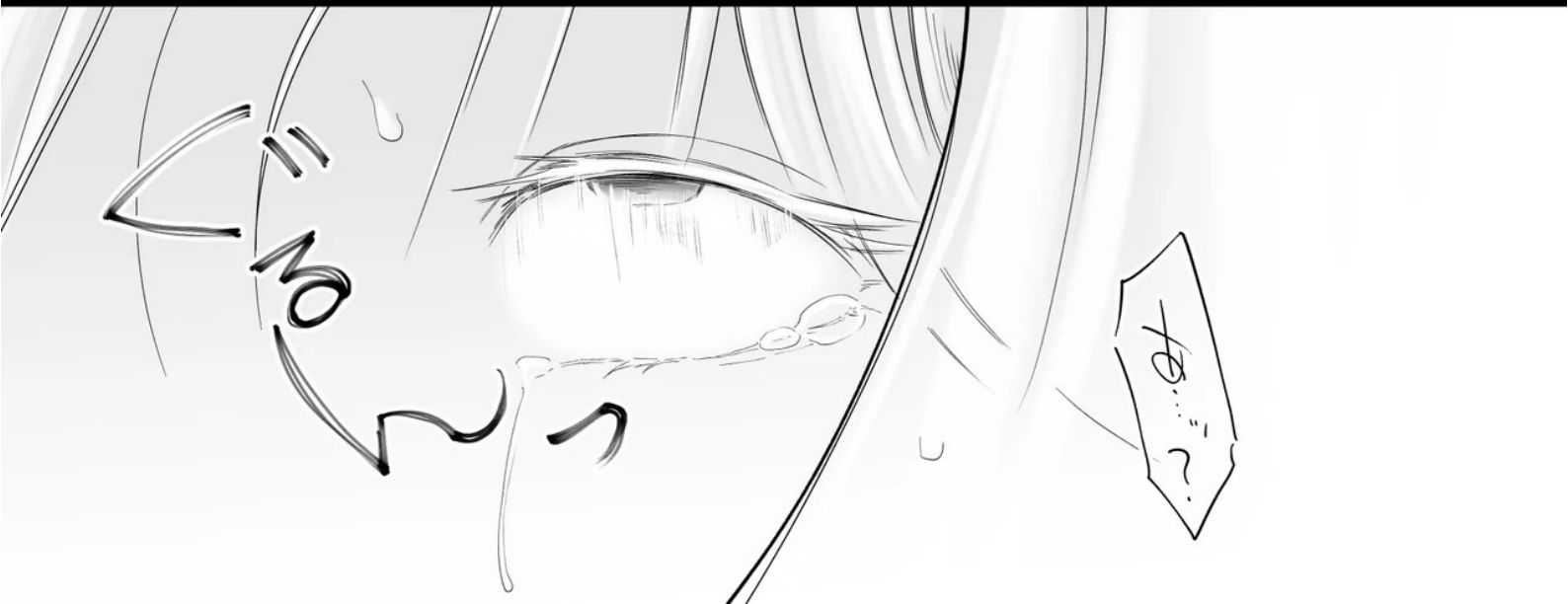
こいつの感情を
この身で感じられるのも
これで最期。

逆行する
前よりもずっと

色んな感情を
感じられた。

前回よりも、

スグ



たったこの程度で
気を失ってしまうのか

メディナ

俺の
故郷は、





地球でいえば
『300年』ほど

テロル人からの攻撃を
受け続けていた。



テロル人に対抗する為に
造られた仲間達が
無惨に散らされていく
日々の中

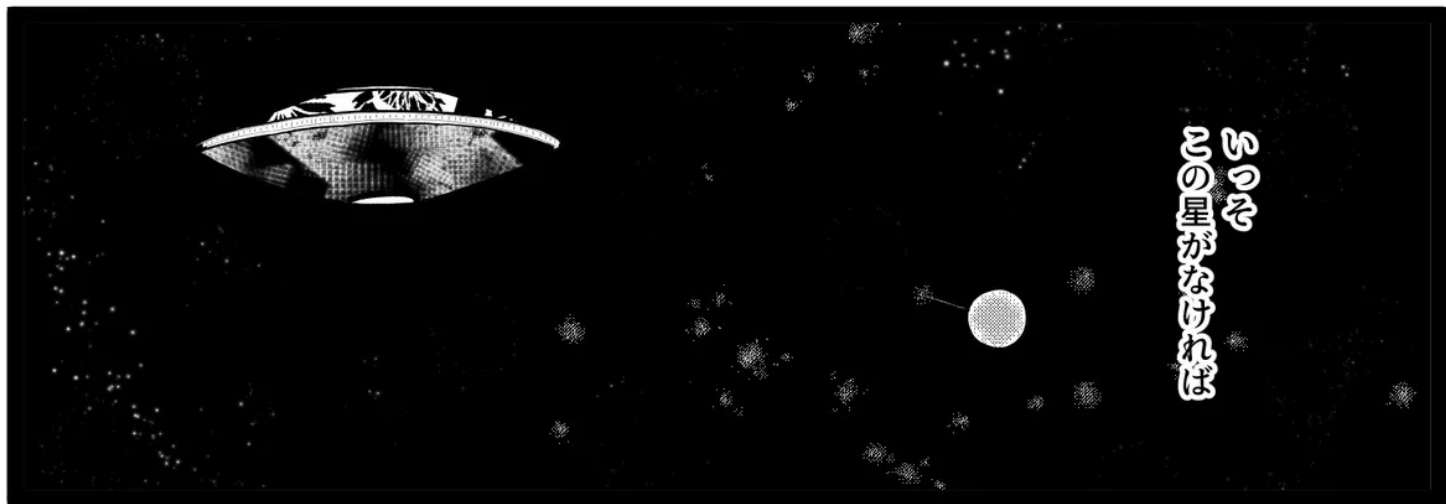


いつからか苛立ちを
感じるようになっていた。

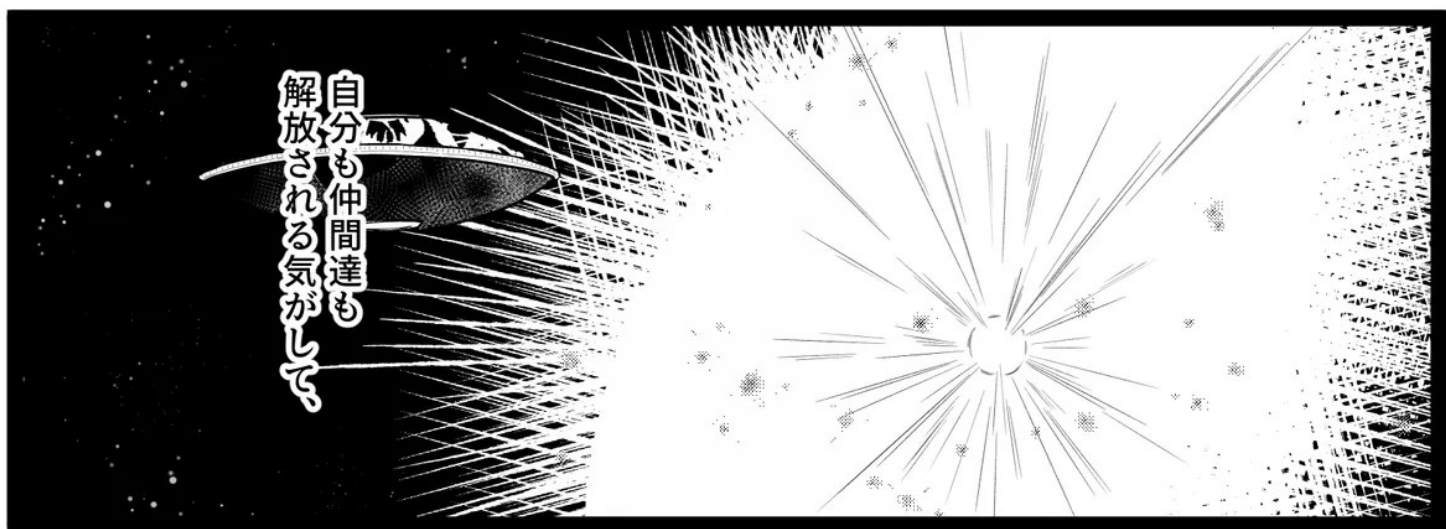


最初は誇らしかった
創造主たちの笑顔に





いつそ
この星がなければ



自分も仲間達も
解放される気がして



母星を
破壊した。



どこかでひっそりと
生き延びてくればいい

そう思った。



仲間たちには
俺をどれほど
憎んでもいいから、

メディナ
この女と
出会ったのは

不時着した
名も知らない星で
テロル人に狩られ、

命の終わりの予感に
安堵すら感じ始めた
時だった。





薄気味悪い女
だった。

君主の地位を
篡奪する為には同族の命すら
奪うことに躊躇いがなく、

底なしの名譽欲に狩られた
テロル人らしいテロル人
なのかと思えば、

神経接続を
すると何故か

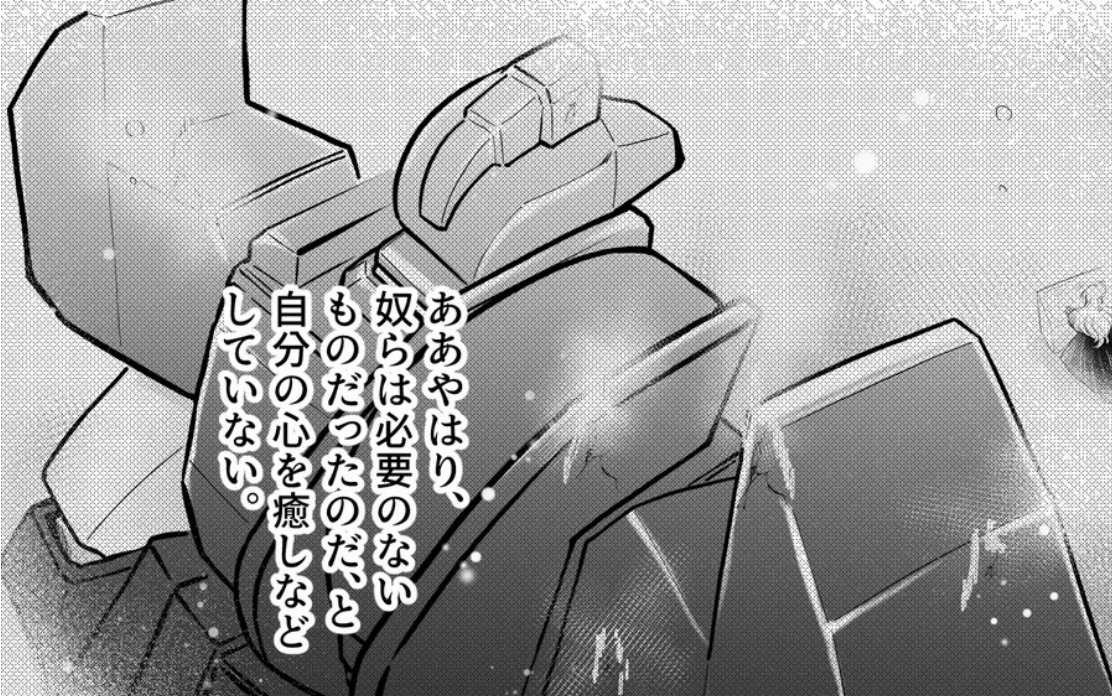
『愛情』

のようなパルスを
常に感じるのが気味が悪く

戦闘に必要な回線以外は
全て切って使っていた。

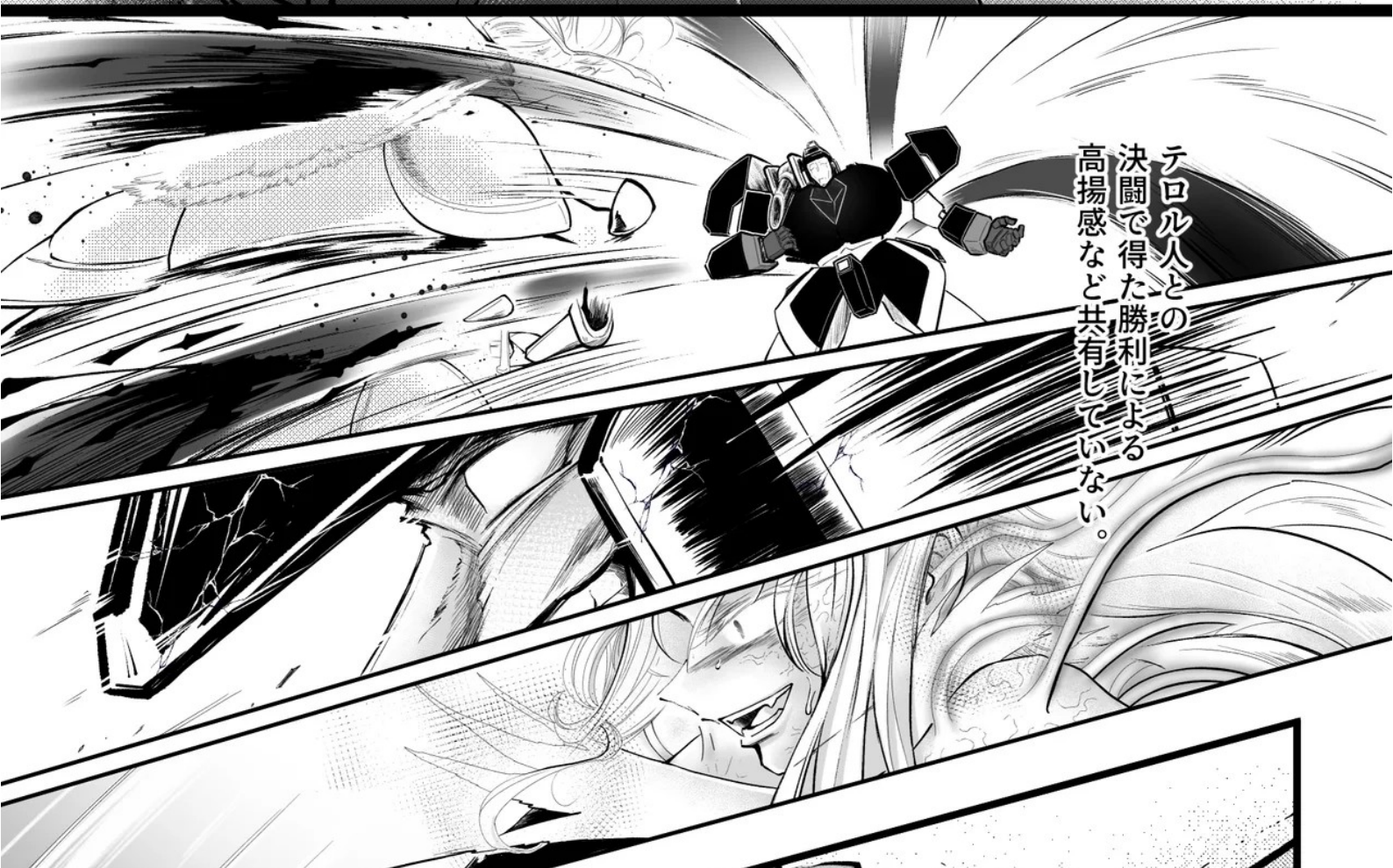
こいつを利用して
テロル人を
皆殺しにし、

仲間たちに
真の安寧をくれてやる。

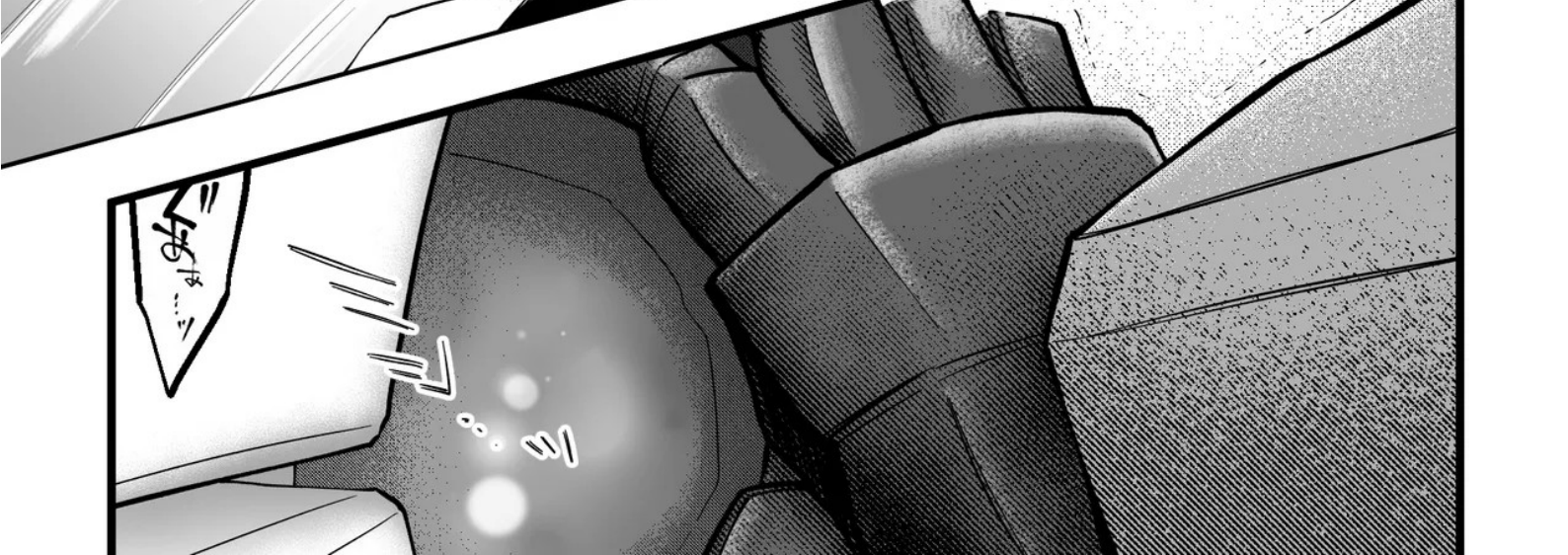


機体を修復するための
感情エネルギーなど
テロル人の科学にかかれば
再現可能なのだ

ああやはり、
奴らは必要のない
ものだったのだと
自分の心を癒しなど
していない。



テロル人との
決闘で得た勝利による
高揚感など共有していない。



「...」



ルシフェル…っ

やめろっ…!!

搭乗する自分達の身を守るため
庇護欲が発生するよう
俺たちを設定した
創造主たちへと
同じく

安全圏で俺たちを操る
矮小な地球人共に対して
湧き起こる破壊衝動を、

全力で止めるこいつを
信頼なんかしていない。



こいつは、

こいつは



いつか、
他のテロル人と同じように
殺さなければならぬんだ。

メディナ…、

おい、
メディナ…！

嫌だ、

操られるな

ダメだ

搭乗者を守るために
設定された機能にすぎない

こいつにかける

俺たちの故郷を
隣れみんなかない

死なないでくれ

襲った侵略者

死んで行つた

仲間たちを思い出せ

俺が殺した



ん…

なんだ
このエネルギーは…

すごい…

あたたかい…



俺は、

なんてことを



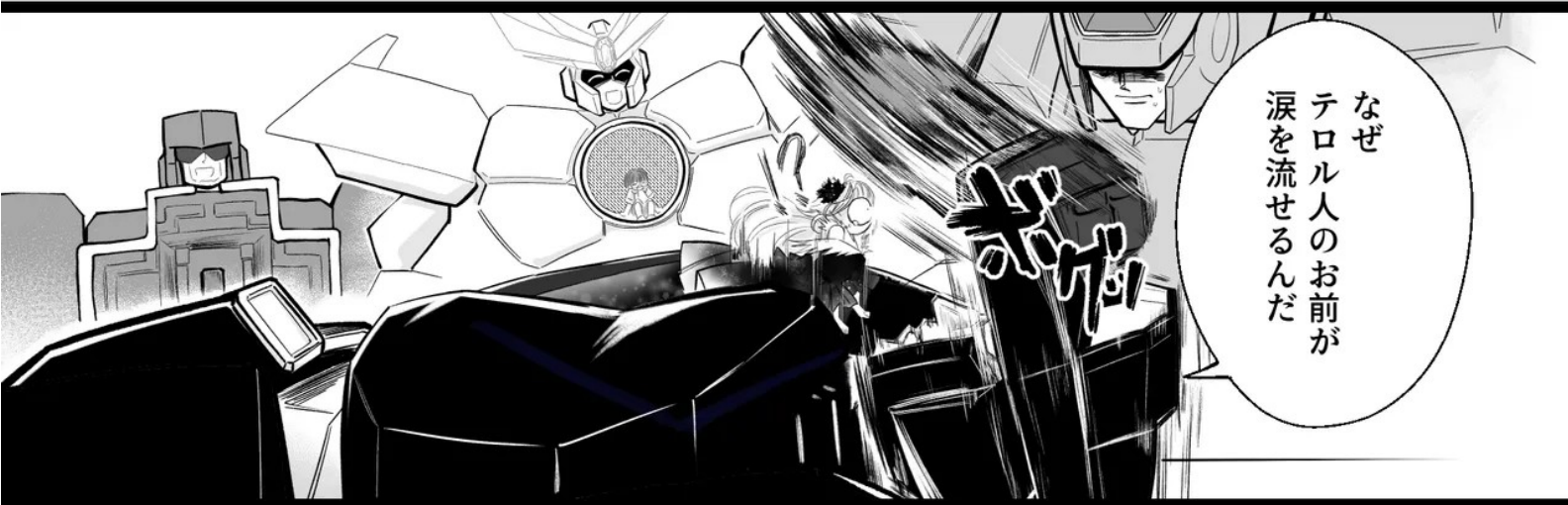
ルシフェル

ルシフェル、

ルシフェル

なんで
自爆なんか

メディナ、



なぜ
テロル人のお前が
涙を流せるんだ



お前の
粉々になった身体
治せたのこの
次期皇帝の愛の力
のおかげなんだぞ
この朴念仁!

搭乗者
泣かせんな!

なぜ
泣く

惹かれる無垢さや
苛烈さの根源が

憎むべき種族の
民族性であることが
どうでもよくなる瞬間が
幾度もある。

心からとめどなく
湧き続ける憎しみも、

お前のせいで
思い出してしまった
搭乗者への庇護欲も、

仲間たちから
大切なものを奪った
俺の償いきれない罪も、

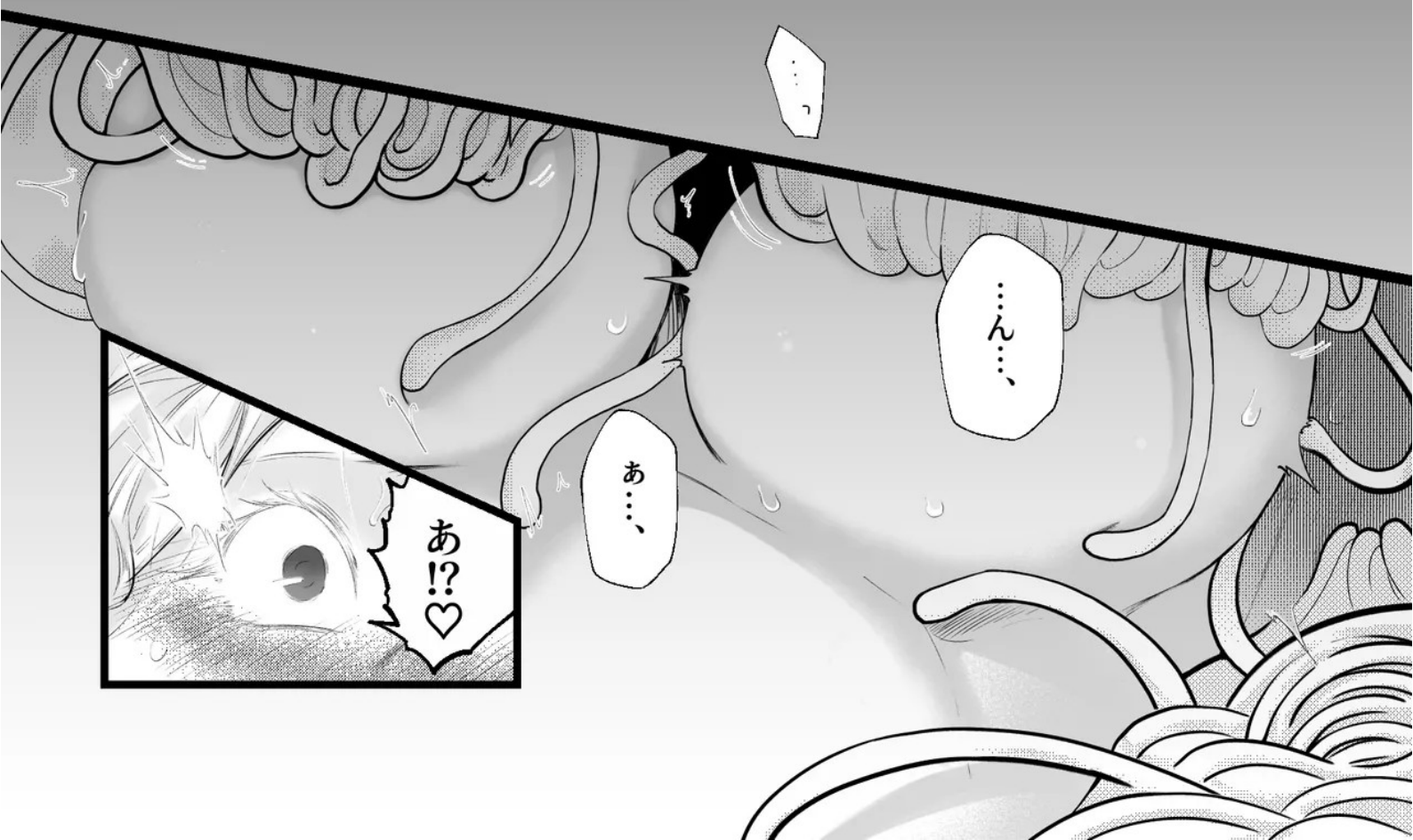
生涯をお前に尽くすことで
飲み込めると、

そう思えたのに、

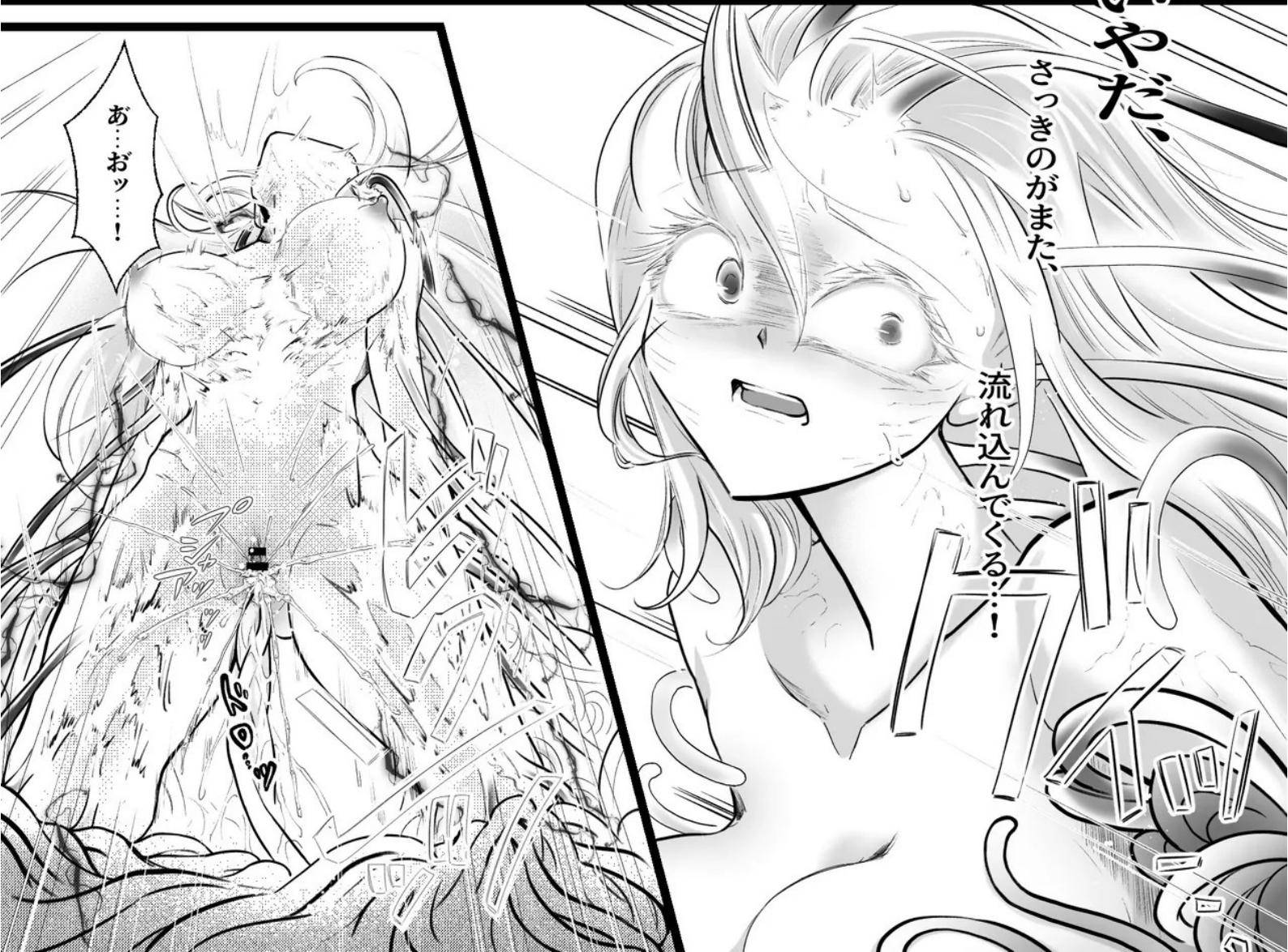


貴様は
どれだけ、

人の心を掻き乱せば
気が済むんだ







今までこんな…ッ、

危ないだろう
メディナ

神経接続の
危険性は
よく理解して
いるはずだ

流し込まれる感情には
同じだけの感情で
拒否しなければ

無理に手で
神経接続を断ち切れば
精神崩壊を起こす

身体全部まで…ッ

まああれしきの
感情パルスで
気絶したお前が、

簡単にここから
抜け出せるとは思わんがな！

いやああっ！♡

ルシフェル！

妊娠して
しまう…っ！♡

奥ツ、
擦るのやめえ…っ♡

…っ、
どんな種とも
子を残すことが出来る
テロル人ならば

人造の兵器である
俺との子すら
罷り間違っ
て出来てしまうかも
しれないな

創造主の星を
滅ぼした兵器と

殺戮の喜びしか知らぬ
種族との間にどんな子が
生まれるのか、

楽しみだな
メデイナ…

いやああッ！

ズ
ズ
ズ

ルシフェル…っ、

い、やああ…っ

お願い、

抜いてくれ…っ

お前との…っ、

お前との子なんて
孕んでしまったら…、

死ねなくなつて
しまう…ッ!!

は？



そうだな…

成程確かに突然お前という監視役を切る事によって、

私が自由にテロル人を指揮し、



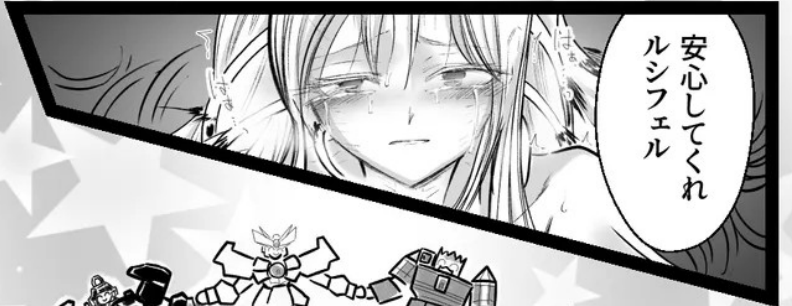
地球や生命が棲まう星の殲滅活動を再開すると思われても仕方がなかった…

それで私を罅り殺そうとしたんだろう？

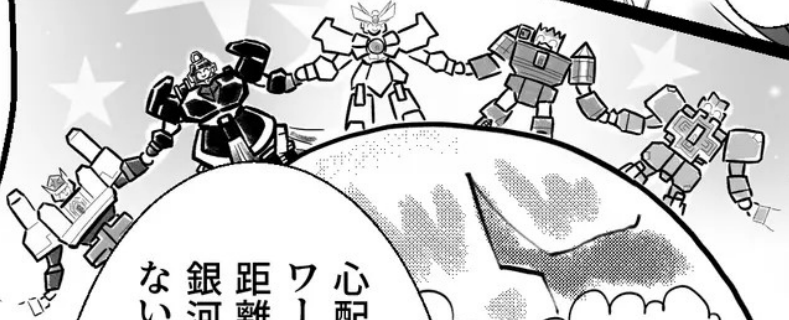
あ？



安心してくれ
ルシフェル



心配せずとも
ワープ先の暗黒銀河との距離的に
お前たちの住む銀河系に影
響がでることは
ないだろう。



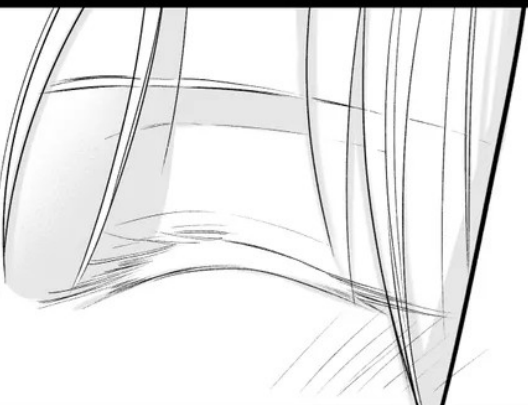
お前を私の専用武器から
解除したのち、
この船を自爆させ

テロル人を
殲滅する！

今私を解放するだけで
恣意的な暴力に
怯え暮らすことのない
真の安寧を一瞬にして
手に入れることが
できるのだ！



私が信用できない
というなら
ワープ設定をするの
を見届けからでも…





そうか…
よく分かった…

絶対にお前を
ここから出す
わけにはいけない
ということが…



そうか、

わからない、

わからないか!!



え…

あ…?

ルシフェル…?

何を
怒っている…?

私は
また何か…

してしまったのか…?

わかるまで、
しばらく俺が
皇帝代理を遂行しよう

子が出ることが、
お前のストッパーに
なるというのは朗報だ

着床しやすいよう

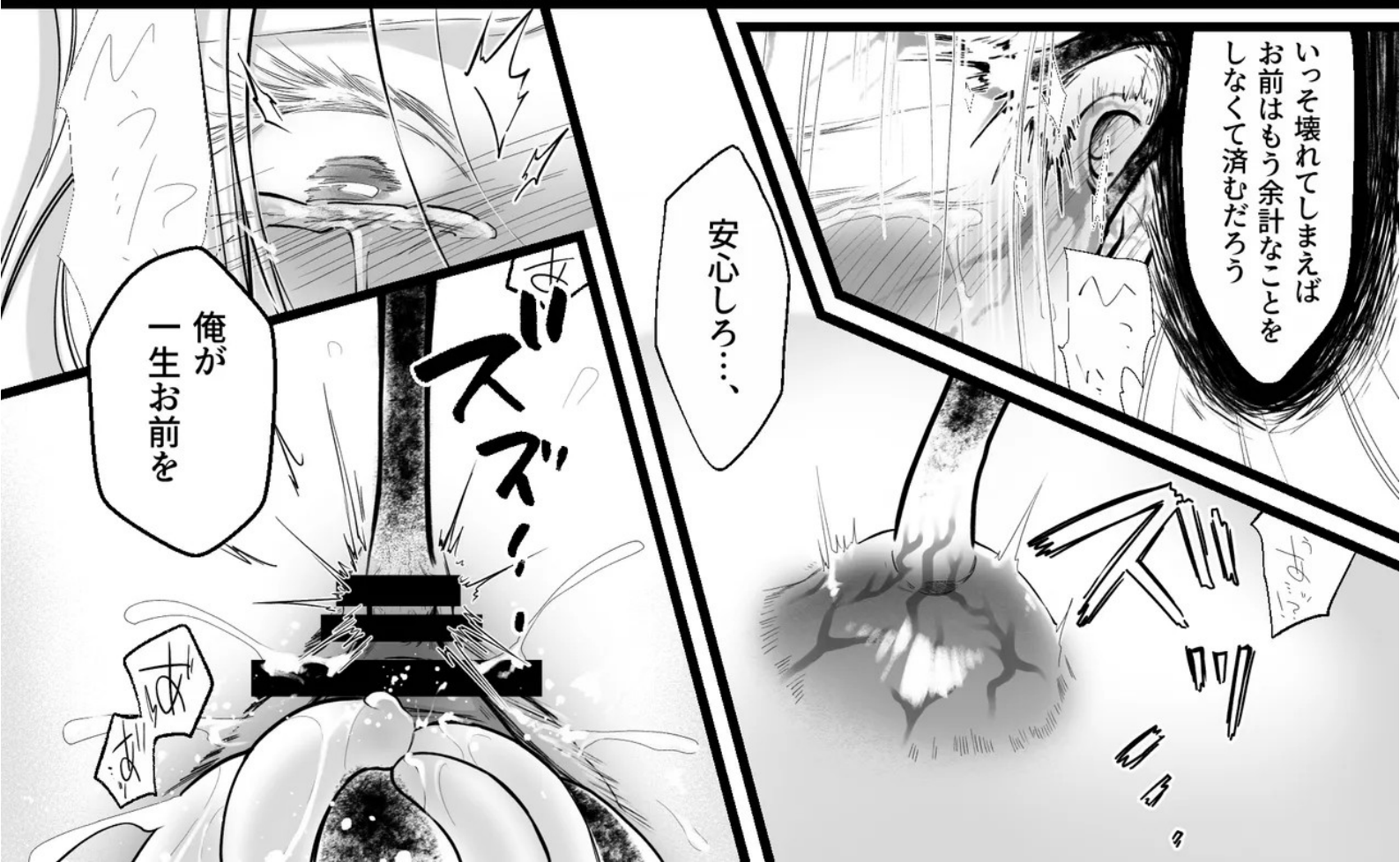
お前の臓腑を
調べさせて
もらうか…

やめ

あ

おッ

あああああ





飼ってやる！



何なのだ
この

強い感情の
パルスは…っ！

咽せ返るほど
甘くて、

胸が苦しくて、

身体中、
送られてくる
情報量の多さに
耐えられなくて



もっとうっ...

送ってほしい...



ん...
う...
う...

...



あああクソ、
本当になんなんだお前はアッ！

同族の命すら
尊ばず、

今まで蹂躪してきた者たちが感じた
痛みも悲しみも理解できない
残虐な本性は
何も変わらないくせに、

いつもいつもいつも
無自覚に愛情パルス
送ってきやがって!!!

何が俺たちの
安寧だ！

散々
俺に…ッ、

俺に
与えておいて

お前だけを冥府へ
逃がしてやるものかああ!!

どう

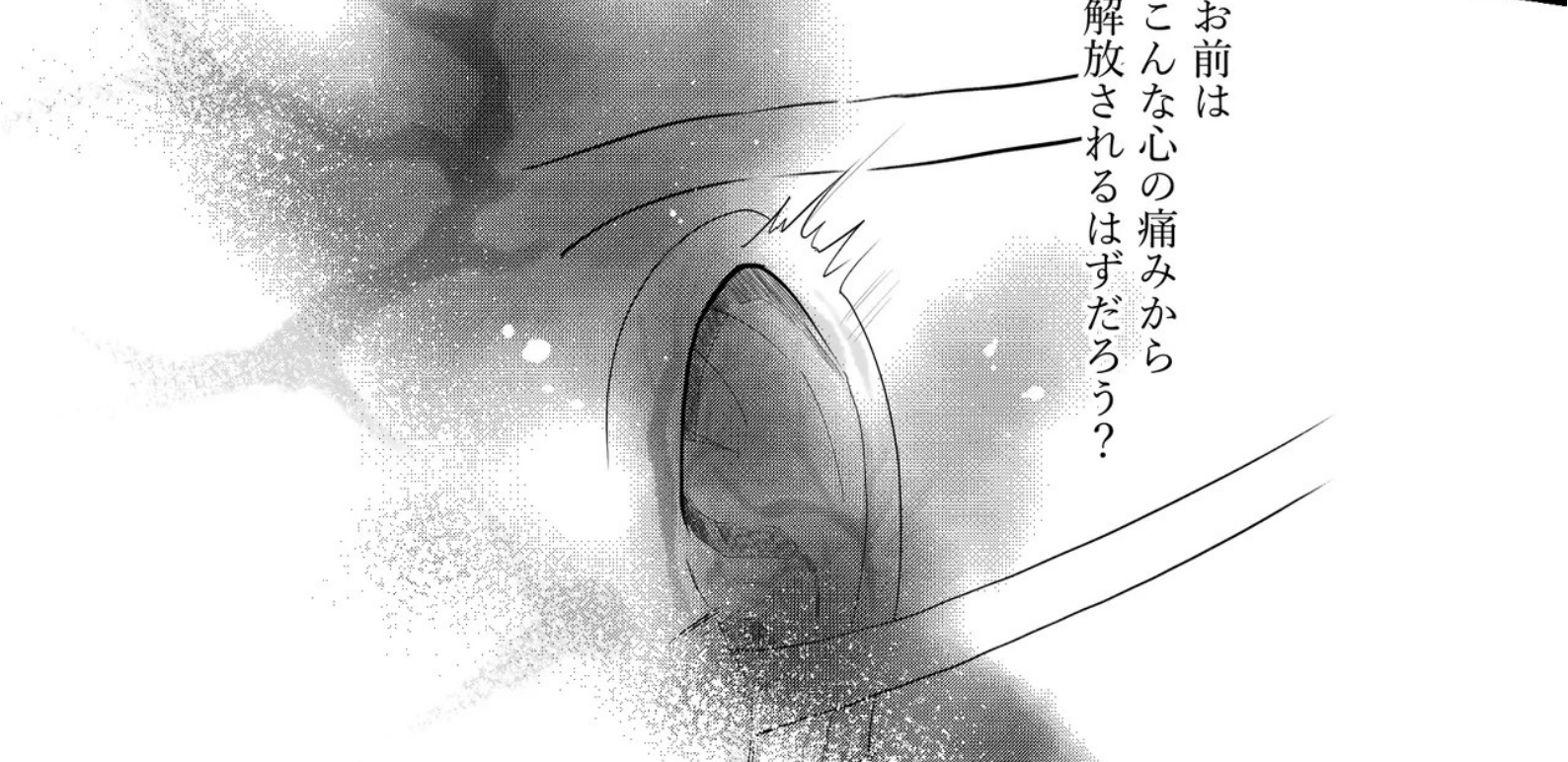
して、



こんなに
苦しそうなのに、



苦しみの根源さえ
断ち切れば、



お前は
こんな心の痛みから
解放されるはずだろう？

どうしてこんな

甘くて

命を引き絞るような
パルスを送ってくるんだ。







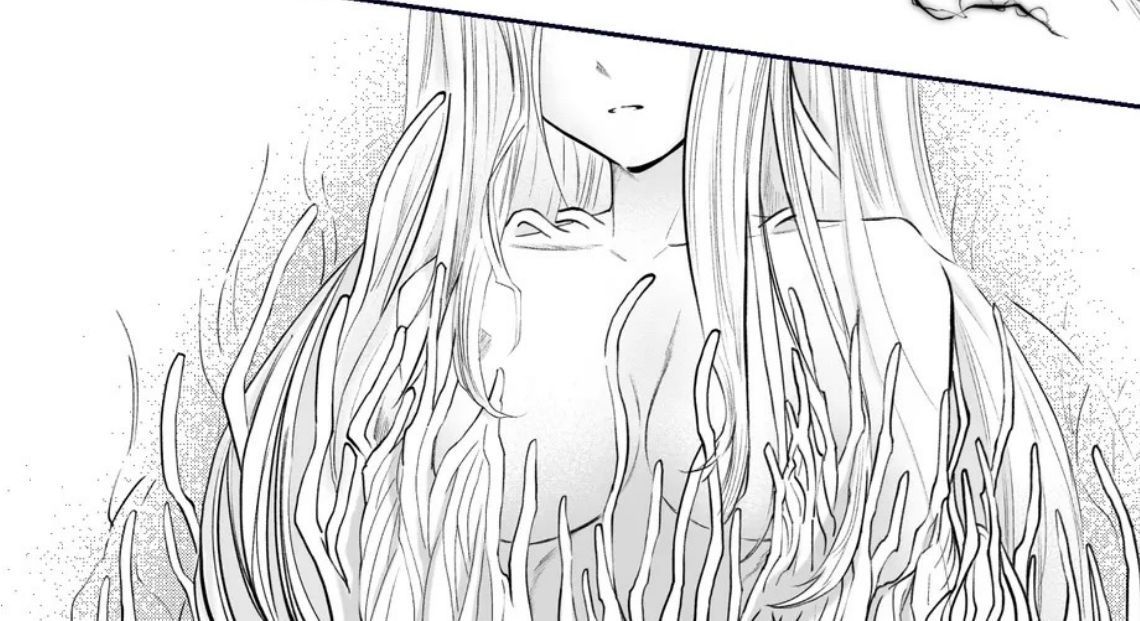
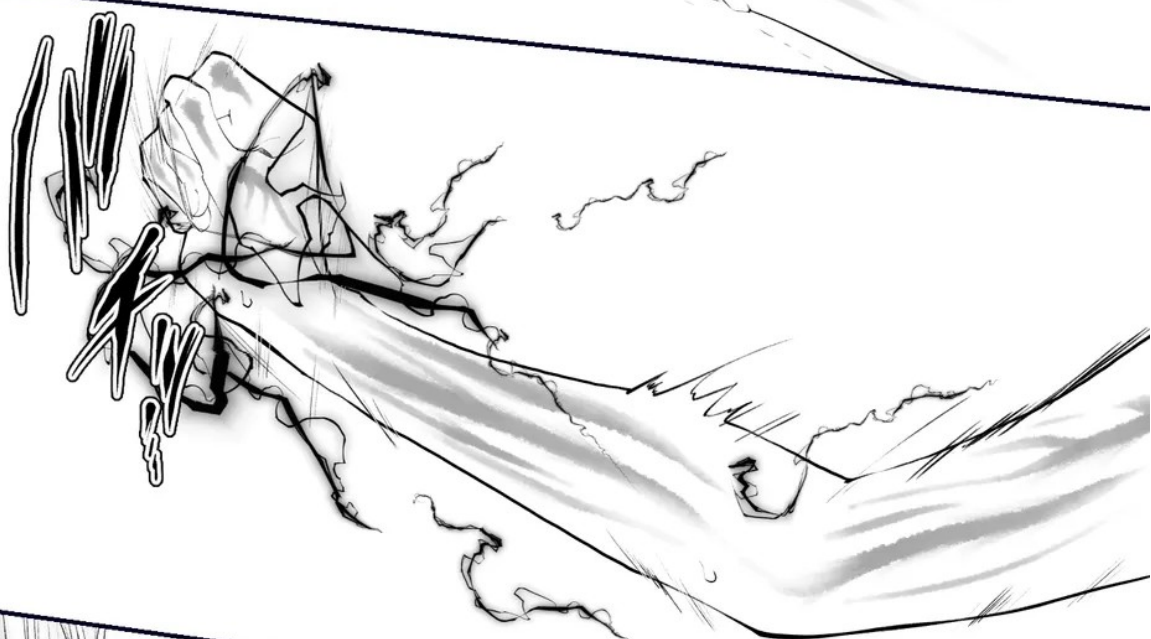
頼む
メデイナ



死なないでくれ…



お前も
私が死んだら
苦しいのか？



...そうか、

じゃあ
この手は、

使えないな…

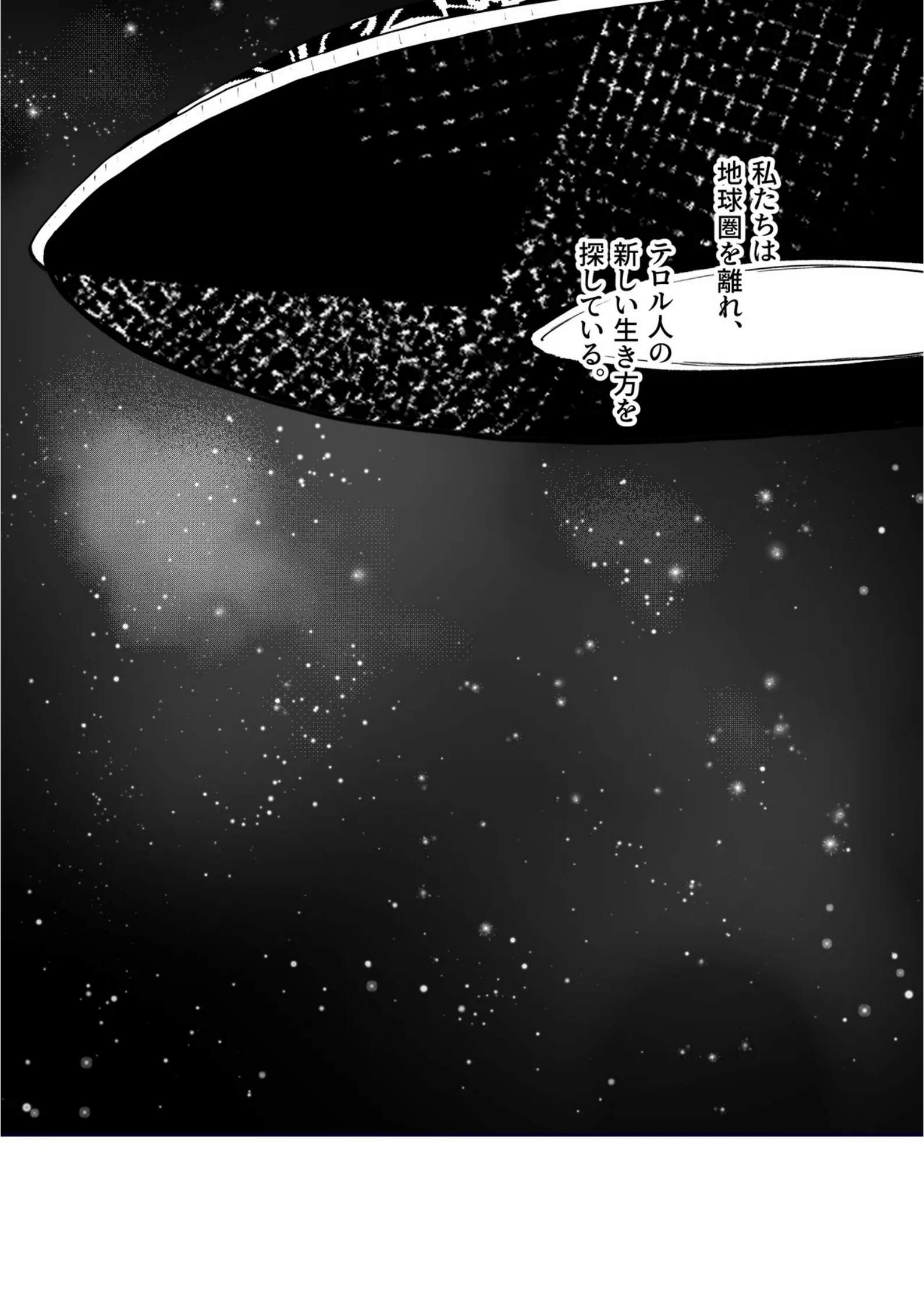






無為な殺戮を
したければ

我々に勝ってからに
するんだな



私たちは
地球圏を離れ、

テロル人の
新しい生き方を
探している。

〈その他の登場人物紹介!!〉

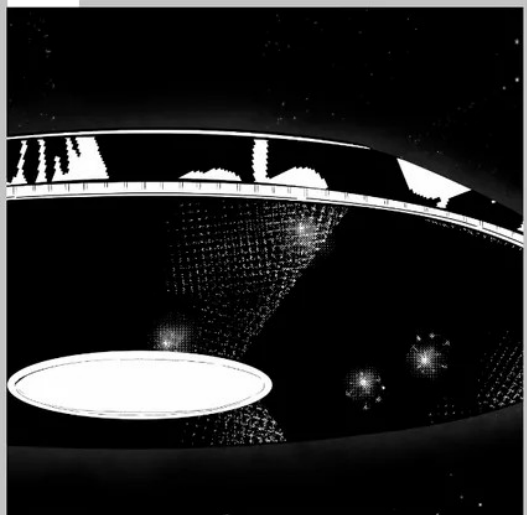


ルシフェルの仲間たち

母星を破壊されたことで母星出身の搭乗者のほとんどが精神崩壊等で死亡。

正史でも生き残りの何体かが地球に流れ着き、地球圏に侵攻してきたテロル人に抗戦している。ルシフェルのことは許さないが皇帝を倒す為に和解。

ルシフェルにコクピットを破壊されかけた少年も正史を全て見届けての逆行民。



テロル人

強いものこそ絶対の価値があり、強さによって序列が決まり、弱者は駆逐するものという理念のもと巨大な戦艦に住い移動する遊宙民族。駆逐に手こずる生物は駆逐するまでのしい戦闘相手。

喜怒哀楽のうち『哀』が欠落しており、持ってしまった者は基本的に廃棄されていたが、ルシフェルの修復エネルギーの材料となることを発見したメディナが回収して使っていた。

正史では上位層の大半はメディナによる謀殺、他は皇帝の力の暴走により地球諸共全滅エンドの憂き目に遭う。

主食は星。



皇帝

テロル人女性とブラックホールとの間の子。ラスボスに相応しい強さ。

あとがき

呪○廻戦にどハマりした結果
最推しが悪役令嬢みてえな黒幕になり、
こいつはどうしようもねえ悪い奴やけど
誰かに成り代わられるのヤダヤダヤダって
気持ちが生まれ転生悪役令嬢もの
めちゃくちゃ描きにくくなった。
よ、よりによってあの成り代わりの権化
みたいな奴のせいで…!?!?
でも悪役令嬢もの描きてえよ〜ってなった結果、
じゃあ…逆行で…ってなった。

90年代ロボットアニメのイメージ。

好きな90年代ロボットアニメは
勇者警察ジェイ○ツカー/疾風! アイア○リーガー/
熱血最強ゴウ○ウラーです

